

6. 高齢雇用継続給付

・60歳以後に雇用保険の被保険者である人に対しては、60歳到達時点に比べて賃金が75%未満に低下した場合、高齢雇用継続基本給付金が支給される。

・受ける賃金が60歳到達時点の61%以下の人

$$\text{受ける賃金} \times 0.15$$

・受ける賃金が60歳到達時点の賃金の61%超75%未満の人

$$-\frac{183}{280} \times \text{受ける賃金} + \frac{137.25}{280} \times 60\text{歳到達時点の賃金}$$

・給付の上限は、賃金と計算された給付額の合計が363,359円（2019年8月1日以後の金額）になるまで。

〔高齢雇用継続基本給付金の早見表〕（概算額）

60歳到達時の賃金 支給対象月の賃金	476,700円以上	40万円	35万円	30万円	25万円	20万円
39万円	0	0	0	0	0	0
38万円	0	0	0	0	0	0
37万円	0	0	0	0	0	0
36万円	0	0	0	0	0	0
35万円	4,918	0	0	0	0	0
34万円	11,453	0	0	0	0	0
33万円	17,989	0	0	0	0	0
32万円	24,525	0	0	0	0	0
31万円	31,060	0	0	0	0	0
30万円	37,596	0	0	0	0	0
29万円	43,500	6,535	0	0	0	0
28万円	42,000	13,071	0	0	0	0
27万円	40,500	19,607	0	0	0	0
26万円	39,000	26,142	0	0	0	0
25万円	37,500	32,678	8,169	0	0	0
24万円	36,000	36,000	14,705	0	0	0
23万円	34,500	34,500	21,241	0	0	0
22万円	33,000	33,000	27,776	3,267	0	0
21万円	31,500	31,500	31,500	9,803	0	0
20万円	30,000	30,000	30,000	16,339	0	0
19万円	28,500	28,500	28,500	22,875	0	0
18万円	27,000	27,000	27,000	27,000	4,901	0
17万円	25,500	25,500	25,500	25,500	11,437	0
16万円	24,000	24,000	24,000	24,000	17,973	0
15万円	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	0

※ 例えば、60歳到達時の賃金が40万円であったが、60歳以後に賃金が20万円に低下した場合、月30,000円の給付が受けられる。

※ 計算時の端数処理の関係で、実際の額と異なることもある。